

学習会

食品リサイクルから作られる 魚類用昆虫飼料って どんなもの？

天然魚よりも養殖魚の値段が高いことに
皆さんは気づきでしょうか？

市場では、養殖魚は天然魚と違って計画的に育成されるので、安定的に良品を消費者に届ける上で有利だからです。そして、ほとんどの場合、養殖魚の方が美味しいのです。でも、最近、魚類養殖用の飼料の価格が高騰しており、国内での魚類養殖の継続が危ぶまれています。

そこで私たち国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所は、国内の食品リサイクルにより育成された昆虫を、海産魚類の飼料原料に適用するための研究を行っています。
今回の学習会では、昆虫飼料の社会的な重要性と効果などについてご紹介します。

日時

7月9日(水)
15:00 ~ 16:30

会場：東京都千代田区六番町15 主婦会館プラザエフ3F 主婦連会議室及びオンライン(Zoom)併用
(JR四ツ谷駅 麴町口 徒歩1分)

(地下鉄南北線 / 丸の内線 四ツ谷駅 徒歩3分)

定員：会場参加 / 定員50名まで オンライン参加 / 定員100名まで

参加費：無料

参加方法：主婦連会員の方で定例会にご参加の方はそのまま参加できます。それ以外の方は主婦連事務局までお申し込みが必要です。

お申込み：お名前、連絡先(電話、メールアドレス)、参加方法(会場参加 / オンライン参加)を下記主婦連合会事務局までお知らせください。

主婦連合会 Tel. 03-3265-8121
E-mail. info@shufuren.net

主催：主婦連合会 協力：国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所

講師



安藤 忠 (あんどう ただし) さん

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産技術研究所 環境・応用部門
水産物応用開発部 主任研究員

1989年から水産研究所で魚類の成長に関する研究に従事。内閣府の研究プロジェクト「ムーンショット型研究開発制度」と「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」にて昆虫の飼料化を目的とする研究課題のリーダーを務める。水産大学校などで時々授業を担当。北里大学海洋生命科学部客員教授。博士(水産学)。

